

発行所＝ 読売新聞群馬支社
面名＝ 読売新聞群馬版
記事終了時刻＝
カラー校正時刻＝
取り直し＝ 0
追付＝ 0

読売新聞

群馬 GUNMA 馬

購読、配達

読売会 027-251-1666 前橋 235-6600 前橋南 265-6280 新前橋 251-1077 高崎北 323-0522
高崎南 323-0458 安中 382-1811 沼田 23-0330 渋川 24-6318 藤岡 22-0624 富岡 62-0169
中之条 75-2322 新町 42-0268 前橋北部 283-7575 桐生 44-4311 伊勢崎 24-8555 太田 22-2323
館林 72-0667 新太田 52-4611 大間々 72-1226 大泉 62-3551 邑楽 88-0675 伊勢崎N T63-5510

前橋支局 〒371-0026 前橋市大手町 3-7-1 電話 027-232-4311 Fax 232-2262
高崎支局 〒370-0831 高崎市あら町 206-9F 電話 027-322-2834 Fax 324-7553
太田支局 〒373-0033 太田市西木町 47-16 電話 0276-31-5400 Fax 31-5417
藤岡支局 〒375-0051 藤岡市本町 250-5 電話 0274-24-7330 Fax 24-7335
桐生通信部 44-1414 伊勢崎通信部 25-3150 渋川通信部 24-4311

メールは maebashi@yomiuri.com

読売新聞群馬支社 前橋 255-2511 読売旅行 前橋 243-5201 群馬読売アイエス 前橋 253-2304
太田 46-6165

10秒33日本新の3年前 高3で苦い大舞台

最速ランナー「挑戦」起点

五輪と私

1984年ロサンゼルス五輪の陸上男子100mに出場した不破弘樹さん(49)は当時、東農大二高の3年生だった。爆発的な加速から「カミソリ」と呼ばれ、80年代の日本短距離界のトップを走り続けた。多くの挫折を糧に、指導者の道を歩んでいる。(坪川裕太)

ロス陸上男子100 不破弘樹さん 49

日本タイ記録出し代表
84年に日本タイ記録(10秒34)を樹立し、「高校生五輪代表」となった。連日「メディアヤファンから注目を浴びた」
外を抜けなかったという、本
当にすごかったです。後になっ
て東農大二高の関係者から大
変だったよ。不破君の専用ダ
イヤルが一本あったのよと打
ち明けられました。ロスの選手
村で同じ部屋だった(4000m)
日本記録保持者(高野進さん)
も初出場だったのですが、取材
はほぼ全て、私が担当でした。
後に高野さんから「正直、ジェ
ラシーを感じていた」と言われ
ました。



「ソウルから勝負」
東農大二高で本格的に競技
を始めた。才能が一気に開花。83
年の全国高校総体(インターハ
イ)を高校新記録で制するまで
飛ぶ鳥を落とす勢いだっ
中学は野球部で、陸上大会に
出る時に体育の先生が練習メ
ニューを組み立ててくれました。
練習は一人。だから東農大二高

「やっとうた」
87年の東京国際ナイターで
当時の世界記録保持者のベン・
ジョンソンとテッド・ヒートを繰
り上げ、10秒33。日本記録を19
年ぶりに更新した。
ロス五輪から3年間、調子が
悪かったわけではありませ
ん。10秒35から40まで、100分の
1秒ずつ全てのタイムをコンス
タントに出しました。でも、内
容が良かったのに後半流して10
秒38とか、土砂降り10秒35と
か、運にも恵まれませんでした。
更新した時は「やっとうたか。
これからは世界と勝負ができ
る」という思いでした。

「逃げずに前へ」
26歳目前で挑んだバルセロ
ナ五輪の選考からも漏れ、96年
に第一線を退いた。不完全燃焼
ではある。だが、五輪の舞台へ
挑み続けてきたことが、指導者
になった今に生きている。
やめて逃げるのは簡単なん
です。逃げずに前に突き進むた
めには、目標や目的、意識をし
っかり持たないといけない。楽
になろうと逃げたら、一生後悔
すると思う。踏みとまると
粘りました。
勢いがある時は、何をやって
もうまくいきます。勢いが
ないときは、もう一回勢いに乗るの
は並大抵の努力ではできない。
違ったこともやらなければいけ
ない。走り続ける中で、そのこ
とを学びました。



「迎えたロス五輪。開会式に
出られないほど、極度の緊張に
襲われた。「夢の祭典」は苦い
経験となった」
実は、本調子ではありません
でした。神経性胃腸炎の持病があ
り、試合前はいつもナースに
なりました。ロスでも嘔吐を繰
り返し、体重が5、6kg減りま
した。恩師の鳥羽完司先生は棄
権させようと思ったみたいだ
が、「いけません」と言ってお
ふらふらの中、10秒56で1次予
選は通過しましたが、2次予選
は10秒7もかかり敗退しまし
た。一方、本職ではない1600
0リレーは準決勝に進出。五
輪での実績は、そちらの方が上
になっています。

「選考会の落とし穴」
日本記録保持者として臨ん
だソウル五輪の選考会。準決勝
で落とし穴があった。
五輪の参加標準記録を破った
選手が10人以上いました。決勝
に向けて「格の違いをみせてや
ろ」と考えていたら、準決勝
で意気込みすぎて、スタートで
飛び出してしまった。フライン
グかと思いましたが、(やり直
しを伝える)リコールが鳴りま
せん。必死に追いつきましたが
間に合いませんでした。日本人
と競ったレースで準決勝敗退は
初めて。「決勝に残った選手か
ら代表を選ぶ」という当時の日
本陸連の方針で、リレーメンバ
ーからも外れました。ショック
は大きかったですね。

TEAM 不破 後進育成に力

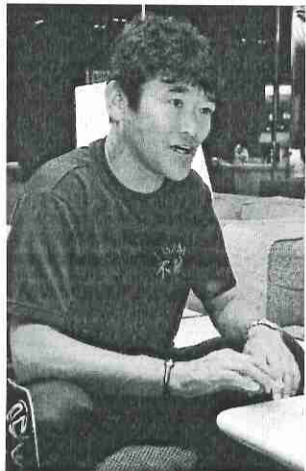
不破さんは一般社団法人「TEAM 不破」を設立し、埼玉県朝霞市を中心に陸上教室などを開催している。主に小学生を対象に競技の普及や、後進の育成に取り組んでいる。
指導方針は、「子供たちに「走ることが好き。速くなりたい」



「かけっこ教室」で子供たちにフォームを教える不破弘樹さん(2011年9月、札幌市の幼稚園で)

「足が速い」といふ、そのスポーツでも生きる。2020年の東京五輪で活躍できるような選手を育てたい」と語る。
7月に父・勝利さん、9月に母・とみ子さんを相次いで亡くした。ずっと応援してくれた両親に対する感謝の気持ちもあり、今後は県内の活動に力を入れ、地元で恩返しするつもりだ。「陸上競技を広める仲間を増やしたい。そして『破れぬ(す)』の名のよすがに、つなかりを強くしたい」と意欲を見せる。

「子供たちに走る楽しさを感じてほしい」と話す不破弘樹さん



ふわ・ひろき 1966年7月9日、沼田市出身。沼田西中3年の時、当時の中学日本新記録でジュニア五輪を制した。東農大二高3年でロス五輪代表に選ばれ、注目を集める。法政大3年の時に日本記録(当時)を更新。大京、県スポーツ振興事業団で競技を続けた。引退後、上武大陸上部のコーチに就任。2014年日本選手権男子200m優勝の原翔太選手を指導した。文部科学省の「子どもの体力向上推進事業」で全国を巡回し、14年に「TEAM 不破」を発足させた。15年4月に一般社団法人化し、陸上教室事業を本格的に始めた。

- 31 「MOA」前橋児童作品展 (写真は県知事賞の木村優希君)
- 30 ペガサス 立て直し急務
- 30 ザスパ 欠けたホーム白星
- 30 棟東にガラス工芸体験施設
- 31 おくやみ
- 32 群馬YPC9月風景部門
- 32 AKAGIDAN元気通信

ご予約はお早めに!

Sienta HV新登場!

シエンタ HV 1.8L 11,880円

トヨタレジャー系群馬

027-333-0100